

ユーザーズガイド

Brother Meter Read Tool

著作権

Copyright© 2017 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

本書の情報は予告なく変更されることがあります。本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、使用許諾契約書に従う場合に限り、使用または複製することができます。ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、本書のいかなる部分も、複製することはできません。

商標

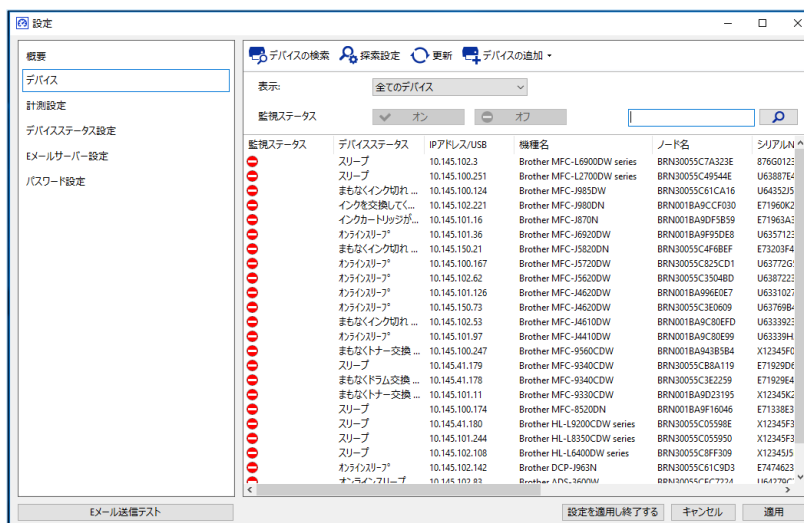
Brotherはブラザー工業株式会社の商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

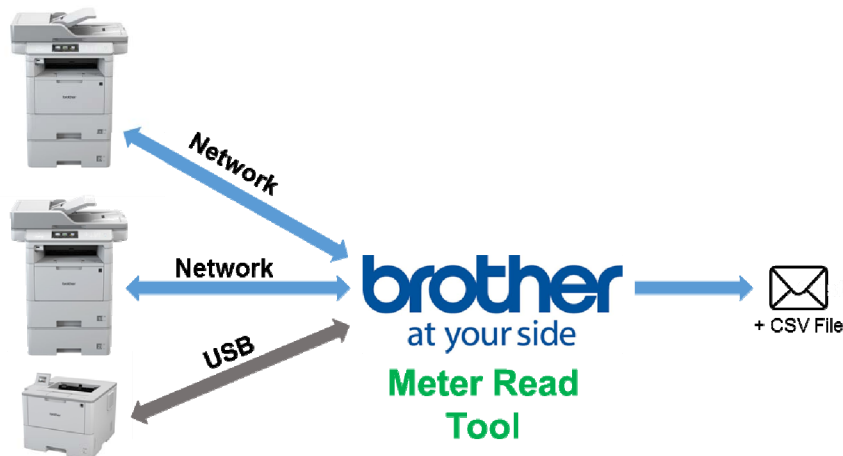
目次

1. 概要	4
使用情報の収集方法	4
システム要件	5
Brother Meter Read Toolのインストール	5
2. 設定	6
監視対象デバイスの選択	6
デバイスログ設定	8
デバイスステータス通知設定	8
Eメールサーバー設定	9
Meter Read設定のテストと展開	10
設定のエクスポート	10
3. トラブルシューティング	11

1. 概要



Brother Meter Read Toolソフトウェアは、ネットワーク接続デバイスおよびUSB接続デバイスから、使用情報を直接収集し、Eメール経由で送信します。また、製品エラーが発生したり、補給品の残量が少なくなると、Eメール通知を送信することもできます。



1.1 使用情報の収集方法

Brother Meter Read Toolは、下記の方法で使用情報を収集および送信します。

デバイスログ	デバイスステータス
<ul style="list-style-type: none"> 定期的収集：毎日、毎週、または毎月 CSVまたはXMLとして送信 以下の情報を含む： <ul style="list-style-type: none"> 製品ステータス 補給品残り寿命、ドラムカウンター、交換回数 紙づまり枚数 エラー履歴 	<ul style="list-style-type: none"> 収集サイクル（最短で1分ごと）にしたがって収集 カスタマイズ可能な情報を含む複数のプロフィールをサポート 以下の問題発生時に送信： <ul style="list-style-type: none"> トナー／インク残量が残りわずか、または交換が必要 補給品に関する警告およびエラー（ユーザーが修理可能な場合と、サービスマン向けの場合の両方が対象） 紙づまり、給紙・排紙エラー カバーオープンエラー メモリーエラー サービスコールエラー、パーツ不足エラー

1.2 システム要件

Brother Meter Read Toolは、以下のオペレーティングシステムとソフトウェア環境をサポートします。


OS	Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2、Windows Server® 2012、Windows Server® 2012 R2、Windows Server® 2016 (32ビット版・64ビット版)
.NET Framework	4.5.2以降

1.3 Brother Meter Read Toolのインストール

MSIインストーラーまたはEXEインストーラーを使用して、Brother Meter Read Toolをインストールできます。

メモ

MSIインストーラーを使用する場合は、必要なバージョンのMicrosoft .NET Frameworkを手動でインストールする必要があります。

1. インストーラーファイルのアイコンをダブルクリックし、「エンドユーザーライセンス契約」を読んで内容を確認します。
2. 画面の指示にしたがって、Brother Meter Read Toolのインストール先フォルダを選択し、はいボタンとOKボタンを順にクリックして、インストールを完了します。
3. ツールがインストールされたら、通知領域の  アイコンを右クリックして、開くをクリックします。
4. 設定ボタンをクリックして、設定を開始します。

2. 設定

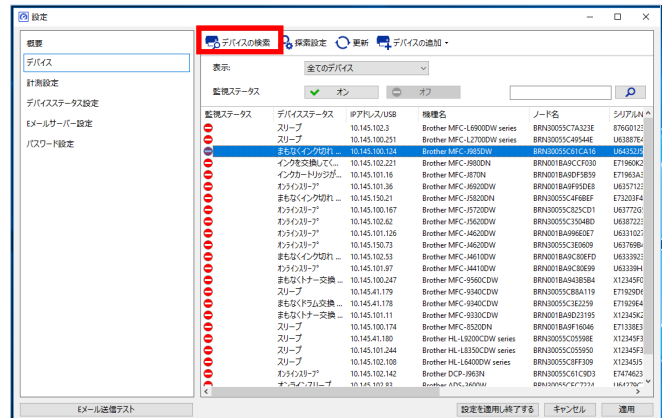
2.1 監視対象デバイスの選択

Brother Meter Read Toolが監視する、ネットワーク接続またはUSB接続のデバイスを選択します。

1. デバイス画面で、デバイスの検索ボタンをクリックし、デバイスリストを更新します。監視対象デバイスが表示されます。

2. 監視したいデバイスがリストにあるかどうか確認します。

- デバイスがリストにある場合は、手順5に進みます。
- デバイスがリストにない場合は、手順3に進みます。

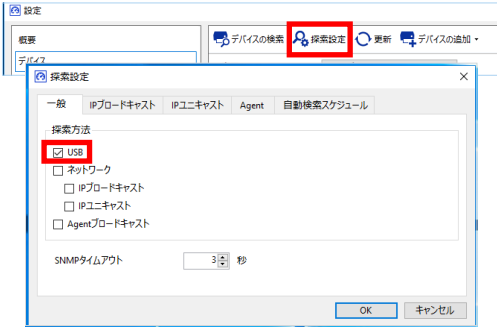
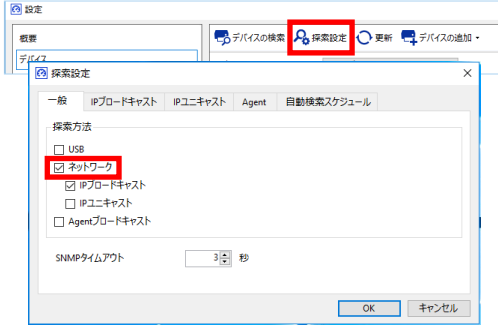


メモ

検索ボックスに特定のデバイスの詳細を入力して検索することもできます。

3. デバイスがリストにない場合は、最初にデバイスを接続し設定する必要があります。以下のいずれかを実行します。

- USBケーブルでデバイスとパソコンを接続し、ドライバーをインストールします。
- デバイスをネットワークに接続します（ドライバーの手動インストールは必要ありません）。

USB接続デバイス	ネットワーク接続デバイス
<p>a) デバイスのフルパッケージダウンロードをインストールします。</p> <p>b) USBケーブルを使用して、デバイスをパソコンに接続します。</p> <p>c) 探索設定ダイアログボックスで、USBにチェックを入れます。</p>	<p>a) デバイスをローカルネットワークに接続します。</p> <p>b) 探索設定ダイアログボックスで、ネットワークにチェックを入れます。</p>
	<p>メモ お使いのネットワークに合わせて、追加の探索設定を必ず正しく設定してください。</p> 
<p>d) OKボタンをクリックします。</p>	<p>c) OKボタンをクリックします。</p>

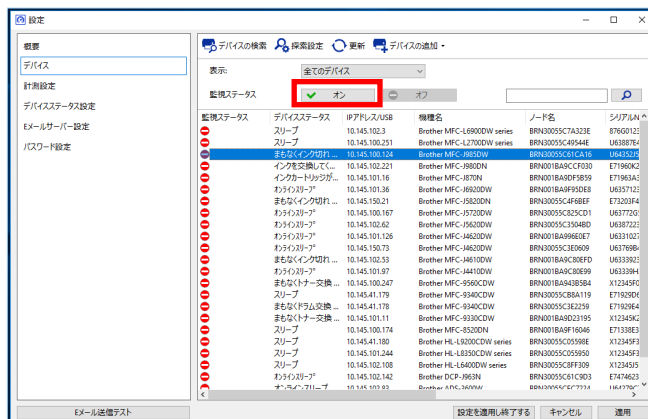
4. **デバイスの検索**ボタンをクリックし、デバイスリストを更新します。それでもなお、監視したいデバイスがリストに表示されない場合は、デバイスがパソコンまたはネットワークに接続され、正しく設定されていることを確認します。

- 監視するデバイスをクリックし、監視ステータス領域でオンボタンをクリックします。選択したデバイスの横に緑色のチェックマークが表示されます。

メモ

表示ドロップダウンリストを使用し、監視ステータスに基づきデバイスを並べ替えることができます。

デバイスをリストから削除するには、デバイスをクリックし、キーボードの削除キーを押します。



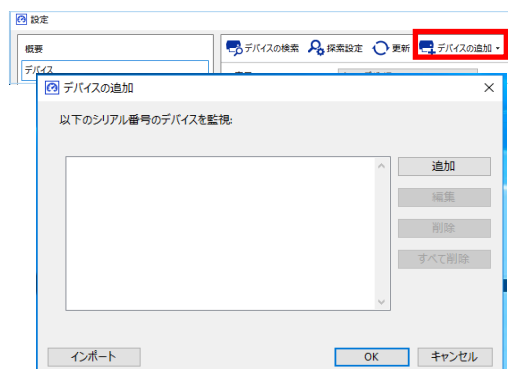
- 適用ボタンをクリックし、設定を保存します。

特有の識別子に基づくデバイス監視

以下のような特有のデバイス識別子を指定することで、特定のデバイスの監視を開始できます。

- シリアル番号
- モデル名
- IPアドレス
- MACアドレス

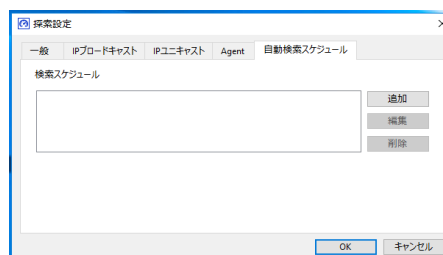
- 右上隅の**デバイスの追加**ボタンをクリックし、目的の識別子を選択します。
- デバイスの追加**画面が表示されます。以下のいずれかを実行します。
 - 追加ボタンをクリックし、一意のデバイス識別子を入力します。
 - 一意の識別子を多く含むテキストファイルを作成し、インポートボタンをクリックし、ファイルを選択します。
- OKボタンをクリックします。指定したデバイスが正しく接続および設定されている場合のみ、ツールがデバイスを検出し、監視します。



デバイスの定期探索

ツールが新しいデバイスを自動的に探索し、デバイスのリストに追加する周期を設定できます。

- 探索設定ボタンをクリックし、自動検索スケジュールタブをクリックします。
- 追加ボタンをクリックして、検索周期を設定します。
- OKボタンをクリックします。指定したデバイスが正しく接続および設定されている場合のみ、ツールがデバイスを検出し、監視します。



2.2 デバイスログ設定

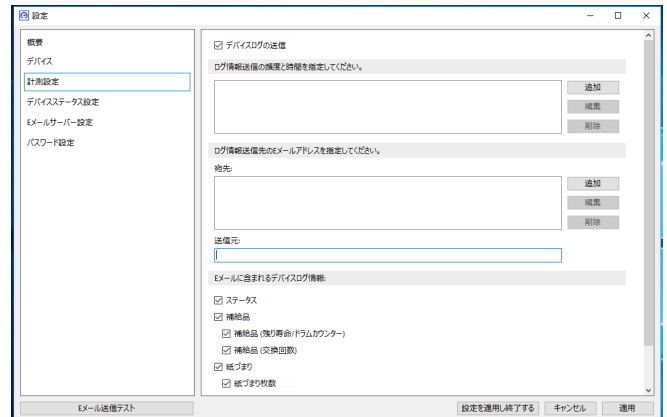
デバイスログの内容、受信者と送信者のEメールアドレス、送信頻度を指定します。

1. 計測設定画面で、**デバイスログの送信**にチェックが入っていることを確認します。
2. **追加**ボタンをクリックし、**デバイスログの送信頻度**と**受信者のEメールアドレス**を指定します。

メモ

デバイスとBrother Meter Read Toolを実行しているコンピューターの両方の電源がオンのときに、デバイスログメールを送信するように本ソフトウェアを設定することをお勧めします。

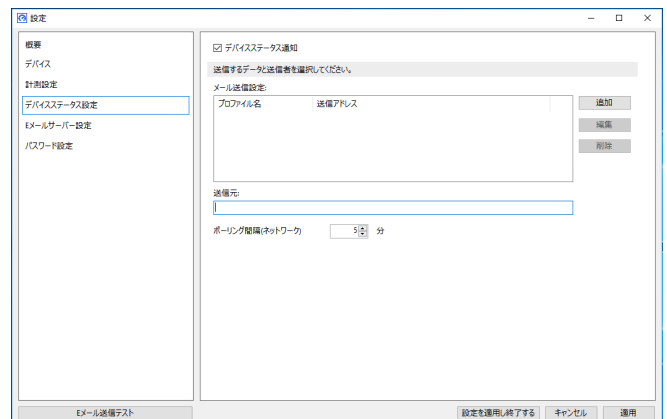
3. 完了したら、以下のいずれかを選択します。
 - Eメールに含まれるデバイスログ情報の種類
 - デバイスログのフォーマット (GSVまたはXML)
4. **適用**ボタンをクリックし、設定を保存します。



2.3 デバイスステータス通知設定

デバイスステータスのEメールプロフィールを新規作成し、送信者と受信者のEメールアドレス、言語・フォーマット、通知対象エラーの種類を指定します。

1. **デバイスステータス設定画面**で、**デバイスステータス通知**にチェックが入っていることを確認します。
2. **追加**ボタンをクリックし、**カスタムプロフィール**を作成します。
3. **OK**をクリックし、**プロフィールの追加ダイアログ**ボックスを閉じます。次に、**適用**ボタンをクリックし、設定を保存します。



2.4 Eメールサーバー設定

Brother Meter Read Toolは、ネットワークまたはUSBに接続されたデバイスから、情報を直接収集し、Eメール経由で送信します。この機能を使うには、使用するEメールサーバーを指定する必要があります。

Eメールサーバーを設定するには、以下の情報が必要です。

- 送信メールサーバー (SMTP)
- SMTPポート
- 認証方法
- ユーザー名
- アカウントパスワード
- SMTP Over SSL/TLS暗号化方式

Eメールサーバー設定画面で、SMTPサーバーの詳細と認証情報を入力します。

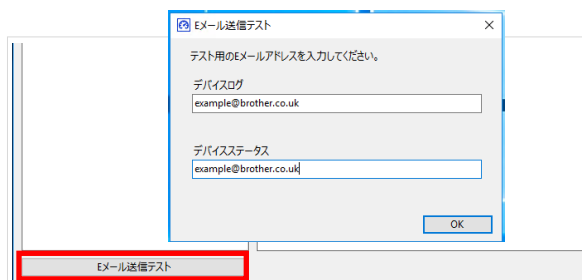
1. Eメールサーバー設定画面を選択します。
2. Eメールの情報を入力します。
3. 適用ボタンをクリックし、設定を保存します。



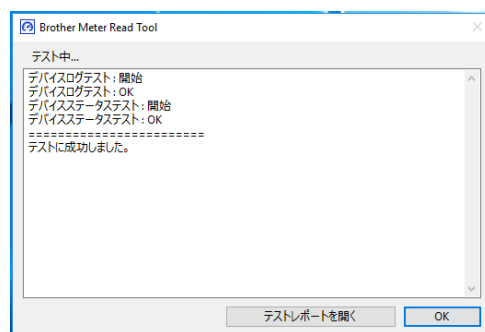
2.5 Meter Read設定のテストと展開

お客様のデバイスを監視する設定を展開する前に、テストEメールを送信し、設定が正しいことを確認します。最初のテストで自分のEメールアドレスを使用し、使用情報に関するメールを受信できるかどうかを確認します。

1. 左下隅のEメール送信テストボタンをクリックします。
2. テスト用のEメールアドレスを入力し、OKボタンをクリックします。
3. ツールが以下のテストを実行します。
 - すべての監視デバイスからのデバイスログの収集
 - デバイスログEメールの送信
 - すべての監視デバイスからのデバイスステータスの収集
 - 1通のステータス通知Eメールの送信¹



4. テスト結果を確認します。
 - テストが成功した場合
Brother Meter Read Toolは、デバイスログとステータス情報を指定された受信者に送信します。
 - テストが失敗した場合
テストレポートを開くをクリックし、エラーログを確認します。詳しくは、トラブルシューティング項を参照してください。
5. 設定を変更されないように、ツールをロックすることができません。パスワード設定画面を選択し、パスワードロックにチェックを入れ、パスワードを入力します。適用ボタンをクリックし、設定を保存します。



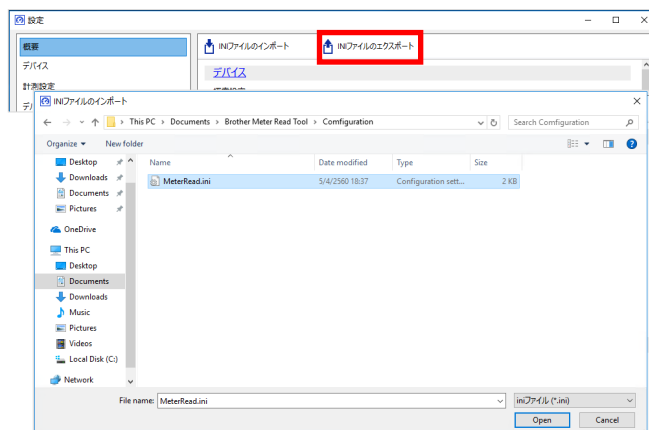
¹ 最初のテスト時に、ツールがインク/トナーに関する通知を送信します。

² 複数のデバイスの選択時に、大量のEメールが送信されないよう、最初のデバイスのみを対象とします。

2.6 設定のエクスポート

設定の展開が完了したら、後で使用することができるように、設定をエクスポートすることをお勧めします。

1. 概要画面を選択します。
2. INIファイルのエクスポートオプションを選択します。
3. 完了したら、テキストエディタでINIファイルを開き、必要な変更を行います。



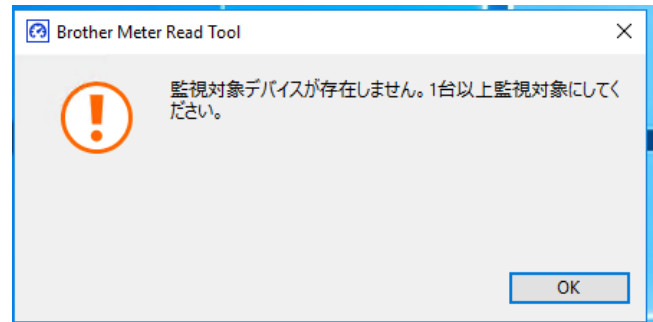
3. トラブルシューティング

テストに失敗した場合は、以下を実行してください。

- Brother Meter Read Toolがページカウント情報を要求しているときに、ブラザー製品の電源がオンになっていることを確認します。
- INIファイルを使用する場合は、INIファイルの名前が正しく、ファイルが正しい場所に保存されていることを確認します。

例：METERREAD.INIファイルは、Meter Readインストールパッケージと同じ場所にある必要があります。

- INIファイルを使用する場合は、INIファイルの設定が正しいことを確認します。



brother
at your side